

令和初の新年を迎えて、“信念”のご挨拶

寺澤佳洋

藤田医科大学 総合診療プログラム指導医、豊田地域医療センター 総合診療科

明けましておめでとうございます。
令和初の新年を、みなさまとともに
「総合診療」に携わる医師として迎える
ことができました。

「総合診療専門医」の誕生が、いよいよ
来年に迫っています！ そんな今日
この頃ですが、
「てらばん*先生が、総合診療を選んだ理由は？」
「総合診療医として、どんな人生プランですか？」
と質問を受けます（*「てらばん」は私のニックネーム
です笑）。みなさんもよく聞かれる質問だと思
いますし、一方で周りの仲間の答えも聞きたくなる
質問です。

先の質問に対して私は、p.83にある私自身の
キャリアや“私のHistory & Vision”をもとに話
をしていたのですが、それに加えて紹介したい仲
間の存在がいました。「総合診療」という枠組み
のなかには、多様性に富んだ仲間がたくさんいま
す。そんな仲間を一堂に集めて紹介できれば、総
合診療の魅力をより多くの方に正確に伝えられ
るのではないかと。そんな思いから本特集を組み、
共感してくれた同志とともに編集に努めました。
執筆者や編集にご協力いただいたみなさんに改め
て感謝申し上げます。

さて、特集の内容に少し触れていきます。今回
は、私の一存で卒後10年目未満の医師を「若手」



と称し、総合診療に関わる14名（番
外編1名含む）の若手ロールモデルの
みなさんにご執筆いただきました。内
容は、①なぜ「総合診療」を選んだか、
②専門医プログラムのインパクト、③
「総合診療医」として目指すものを軸
に構成しています。執筆者のなかには、総合診療
の道を自ら切り開いていた方もいますし、私のよ
うに受動的に行き着いた先が総合診療だったとい
う方もいます。これまでに歩んだ過去も、これか
ら思い描く未来（Vision）もさまざまで、改めて
総合診療は幅の広い領域であると感じました。さ
らに、執筆を依頼した私自身も初耳で瞠目する熱
き志や想いが多々ありました。

座談会（p.74）では、後期研修を終え「指導医」
として総合診療プログラムや医療機関運営に関わ
る、もう若手とは呼ばれない（笑）私を含む4名が
集まり、中堅世代ならではの想いや悩みを共有しま
した。私自身も多くの学びがあった座談会でした。
お楽しみください。

本特集を通じて、読者のみなさんと執筆者の新
年ならぬ“信念”の抱負を共有し、「総合診療」
の発展に寄与できれば幸いです。併せて、医学生
や初期研修医のみなさんが進路を検討される際
に、またその指導の際にご活用いただければ嬉し
く思います。

